

世界最高のカバン

明治34年に創業した大阪最古の手作り鞆店。

かつての英国の伝統的な技法をしっかりと守り、磨き続けて約110年。

馬場万鞆店 三代目店主 秋山哲男

1901年創業の馬場万

この老舗は顧客も一流だ。

例えば、かの棟方志功。彼はいつも馬場万のトランクとボストンバッグを携えて、世界を旅したという。

馬場万の作るカバンには、大きくふたつの特徴がある。

ひとつは素材に植物タンニンでなめしたヌメ革を使う点。そしてもうひとつが全て手縫いという点だ。

手縫いも、馬場万の大きな特徴だ。馬場万の手縫い。2本の位置は交差するが、互いにひっかけないため、糸が切れてもほつれにくい。またミシン縫いに比べて、太い糸をつかうことも可能だ。

つまり、重い荷物を入れても傷みにくい縫い方が手縫い、と言えるだろう。

秋山の技術を物語るのがカバンの「握り手」(グリップ)である。

馬場万の握り手は上に皮を被せてごまかしたものではない。皮を何枚も貼り合わせ、削って成型するという、かつての超一流品と同じものである。

「3mmのヌメ革を4枚、薄い皮を4枚重ねて握り手に成型します。そして麻糸で縫い上げる。」

Roots

馬場万のルーツ

1901年創業の馬場万。創業者の秋山は幕府時代に福山藩の吟味与力を務めた家柄である。

しかし明治維新で没落。先々代が大阪の輸入商社「馬場万」に就職したのが、そもその始まりである。

やがて番頭に昇進した彼は、のれん分けで「馬場万支店」を創業。

その際、イギリス人にカバン作りを習い、

オーダーメイドのカバン屋を始めることとなった。

これが馬場万の起こりである。創業当初は馬場万支店を名乗ったが、

後に本家が消滅したため、現在では馬場万のみを名乗っている。

サライ 創刊号

通販生活 100周年

全日空機内誌

中ノ島倶楽部

ノッテオリテ 創刊号

大阪名物

大人の大阪

…他、多数。

おかげさまで、様々なマスメディアで

ご紹介いただいています。

有り難うございます！